

2012 年度事業報告

NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部
ピボットフット

I. 総 括

活動 11 年目の 2012 年度も様々な活動を通して地域への社会的影響はさらに深まり、教室事業だけではなく関係諸団体との協働事業の実施や検討・提案をすることができ、倶楽部の将来に向けての基盤づくりにとって貴重な一年でありました。国の法律も改変され、具体的に地域スポーツクラブが日本国内でスポーツ界を支える地域の原動力としてさらに期待が大きく膨らんだ年でもありました。

そして、ロンドン五輪での日本選手団の目覚ましい活躍にあらためてスポーツの価値が見直された一年でもあり、さらに 2020 年東京五輪招致活動も架橋にはいり、疲弊した日本社会にあって改めてスポーツの果たすべき役割が大きく発展し期待出来ることを実感した一年であったとも思います。一方、残念にも日本のスポーツ界を背負って立つ柔道界をはじめスポーツ現場での体罰問題が日本のスポーツ界における根本的な問題もあからさまになり、体育としての学校教育現場での部活動とスポーツの本質的なあり方が問われ始めた年でもありました。あらためて日本のスポーツ界を底辺で支える我々地域スポーツクラブの地道な活動が国民生活にとって大きな期待となって来たようにも思います。

1. 2012 年度は、文部科学省が制定したスポーツ基本計画を具体的に進める年として、その政策の重要な項目として地域スポーツの強化育成及びトップアスリートのセカンドキャリアの場づくりが大きなテーマとなり、ピボットフットの進めるスポーツを通しての地域振興と合致し進める方向性にさらに自信を深めた 1 年でありました。
2. 文部科学省委託事業 2 年目を迎え、「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」を全国の総合型スポーツクラブの中から選抜されピボットフットが受託し中心となって、都内関係 4 クラブ（田園調布グリーンアカデミー、八北 SC、南千住 SC、すぱんく）と大田区内 5 小学校（松仙、新宿、東一、田園調布、調布大塚）はじめ都内合計 10 小学校にトップアスリートや体育コーディネーターを派遣し、大変好評を得ました。総勢 30 名の推進プロジェクトを編成組織し活動、初年度の反省を生かしながら、関係皆様のご協力を得て無事完了することができ、改めて感謝申し上げます。さらに今後のスポーツ界の底辺の重要性と新しいスポーツインフラを構築する必要性を実感いたしました。
3. 特に、今年度の小学校の派遣では、派遣先の小学校で派遣したコーディネ

ネーター（保健体育教員免許取得者）の専門とする種目でピボットフットとして新規の教室が開校され、小学校での体育の授業と連動して子どもたちに正しい技術指導ができたことは、今後の学校と地域クラブの連携協働の方向性が見えた一年でもありました。大田区新宿小学校でリズムダンス教室を開校、今年度から学校教育課程でダンスが採用されたこともあり、体験会に 70 人もの児童が殺到人気を博しました。また東調布第一小学校では、バスケットボール教室が開校され、今後はさらに中学校部活動との連動も視野にいれ活動を展開していきたいと考えます。

4. さらに、東京での 3 クラブ（調和 SC、練馬大泉 SC、ピボットフット）と川崎 1 クラブ（高津 SELF）で連携協働として、1 年目各クラブが点での活動から今年度は面での活動に展開を広げることができました。月 1 回の定例会議を中心に、11 月には 4 拠点クラブ合同主催で指導者研修セミナーを藤沢で開催し質の高い研修会として評価されました。2013 年度事業にも継続応募し、事業 3 年目で 4 拠点クラブを中心に連携協働し、より事業的な活動まで広げていきたいと考えます。また、4 拠点クラブとして文部科学省に今後の提言をまとめ提案も行うことができました。
5. 理事長が副幹事長を務める全国 SC 連絡協議会（全国約 3000 の地域総合型スポーツクラブの集合体）も自主自立に向けた議論が深まり、各クラブはもとより県、ブロック、全国 SC としての今後の運営基盤の確立が急がれることとなりました。また、全国 SC オリジナル情報交換ポータルサイトを理事長が事業部長の立場で提案し現在開発中、全国 3000 あるクラブがネットで情報流通インフラが構築されるとさらに事業的展開が進むものと期待されることとなりました。
6. 大田区とは、2 期目の大田区スポーツ審議委員として理事長がスポーツの専門家として大田区のスポーツ推進基本計画を具体的に進めることに携わり、実行計画を策定することになりました。審議会では理事長より、新たなスポーツインフラとしての提案で、大田スポーツコミッション構想や大田区内スポーツ団体情報交流ポータルサイト構想を提案し今後のテーマとなりました。
7. また、大田区として 2012 年度は、スポーツ元年との宣言もあり 7/1 日には新大田区総合体育館もオープンし、増々スポーツ先進区としての活躍がより期待されることとなりました。さらに、大田区議会議員有志においてスポーツ議員連盟の発足にむけ準備活動がスタートし我々の活動と良い連携協働しながら区内のスポーツ推進が期待されることとなりました。
8. 桑田理事長が理事長を務めている一般社団法人東京スポーツリンク（TSL）では、地域クラブをはじめスポーツ関係者・関係団体を繋げることを目的に、車イスバスケットボール（荒川区）やスポーツゴミ拾い（大田区・荒川区）事業を実施し、大変な評価を受けた。特に、スポーツゴミ拾いは大田区羽田地区で地元関係諸団体とピボットフットおよび

T S Lとの協働開催し、45 チーム、スタッフも含め約 400 人の参加で大田区をはじめ地域の青少年対策委員会・商店街・地元企業等の積極参加で、スポーツと環境・企業と地域を繋げる新しいアイデアで地域の活性化に貢献し大きな評価を受けた。さらに、今年度は平和島で大田区主催行事大田ふれあい祭りの一つとして開催され、さらに池上地区でも開催することで、まさに新たな町づくりの一つのソフトとして地域に浸透し始め、今後の普及発展が期待されます。

9. 都立蒲田高校とはエンカレッジスクール 5 年目にあたり、継続して体験授業の市民講師を、ピボットフットから 4 種目の授業に講師を継続派遣、さらに学校自身が大きく変わろうとしていることを実感した。授業は好評を博し学生の手ごたえもあり期待も大きい。さらに、蒲田高校を拠点に倶楽部との協働で新しい地域スポーツ文化形成で今後の展開が期待される。また、桑田理事長が本年度も蒲田高校および都立雪谷高校から学校運営協議会の委員として委嘱を受け参加しました。
10. 都立雪谷高校野球部活動で発生した体罰問題に理事長が調査委員会のメンバーとして委嘱され、専門的な観点から助言を行いました。その経験も含め部活動と地域スポーツとの連携も今後の大きなテーマと実感しました。ピボットフットとしても政策提言出来るように議論を重ねていきたいと考えます。
11. ヤマトホールディングス(株)が地域社会貢献として、ヤマト羽田クロノゲート内に建設される新アリーナの運営について、ピボットフットも入札に参加させて頂き現在結果待ち、ピボットフットとしては日本の一流企業の施設運営を受託することができることで、企業との協働でより地域社会に貢献できるプログラムを提供できるものと期待が膨らむこととなります。
12. 基幹事業である①バスケットボール教室は、小学生から成人まで7クラスの開催で年間 105 人の参会者を迎え、②テニス教室で 16 人、③高齢者対象の健康体操教室で 24 人、④チアリーディングでは、雪谷ジュニアと雪谷成人チームおよび出雲教室で合計 186 人、⑤大田区からの依頼事業としての中学生スポーツ教室に 42 人、⑥チアダンス教室で 5 人、⑦スピードミント教室で 20 人、⑧ビートフィットネスで 22 人、⑨リズムダンスで 30 人、⑩キッズアクロバットで 2 人、⑪サッカー教室で 42 人、⑫太極拳で 6 人、2012 年度倶楽部在籍総数は、474 人で、年間延べ教室開催は 1,012 回、延べ参加者は 15,663 人となりました。新規教室としてリズムダンスと太極拳、バスケットボールの東一小教室が開校され、さらに、葛飾区社会福祉協議会よりチアダンス教室に継続して講師派遣要請があり指導員を派遣し交流がなされました。一方、指導者の環境変化等で、年途中で、チアダンス、キッズアクロバット教室が閉校となり、今後の再開をめざすこととなりました。

13. 昨年に続き、雪谷チアジュニアクラスの中学・小学生高学年 22 人選抜編成ヴァーシテイチームが、2013 年 2 月 2 日駒沢体育館で開催された U S A ナショナルズ東京都予選を部門 1 位で通過、3 月 23 日幕張メッセで開催された全国大会に出場、部門で 3 位の入賞を飾りました。また、前年に続きジュニアヴァーシテイチームも編成し同大会に参戦、東京都予選で部門 2 位で通過、本大会でも奮闘し 3 位入賞を果たし、地域のシンボルチームとして今後の活躍が期待されます。
14. さらに、大田区の行事やバスケットボールフェスタ等地域のイベントや大会に参加し活動を広めました。其々での参加者の反応は非常に良く、特に世代や学校さらに地域間を超えた一体感が自然に沸いてきたことも、倶楽部の考え方や提供内容が参加者および関係者に評価されたと思います。
15. 地域との関係強化は、継続して大田区より区主催の「区民スポーツまつり」や「大田ふれあいフェスタ」、「各文化センター祭り」等に参加要請を頂き地元スポーツ関係団体以外との関係も深くなってきました。
16. 課題としては、倶楽部の活動の P R は、まだまだ口込みでの情報伝達故に多くの参加者には至らず、事業採算的にはさらなる努力と運営面も含めて総合的な改善がより必要である。特に大きな課題として、安定的な会場と質の高い指導者および事務所・職員の確保によるマネージメント機能の充実のための財務基盤の確立が継続的なテーマとなります。
17. さらに、今後の大きなテーマとして N P O 法が改正され認定 N P O 取得でさらに社会的に安定できる経営基盤の確立が求められ、環境体制整備を急ぐこととなります。

Ⅱ. 事業内容

(1) スポーツ教室事業

1) バスケットボール教室

- | | | | |
|--------------|-----------|------|--|
| ① 小学生 i 馬込地区 | 2・4 土/月午前 | 4 月～ | 馬込中学校体育館 入会者 7 人、年 19 回、延べ 103 人参加 |
| ii 蒲田地区 | 1・3 土/月午後 | 4 月～ | 蒲田高校体育館他 入会者 10 人、年 25 回、延べ 125 人参加 |
| iii 出雲地区 | 1・3 木/月夕方 | 4 月～ | 出雲小学校体育館 入会者 15 人、年 23 回、延べ 207 人参加 |
| iv 久原地区 | 2・4 月/月夕方 | 4 月～ | 松仙小学校体育館 入会者 14 人、年 24 回、延べ 196 人参加 |
| v 調布地区 | 2・4 月/火夕方 | 8 月～ | 東一小学校体育館 入会者 9 人、年 12 回、延べ 115 人参加 |
| vi 矢口地区 | 2・4 金/月夕方 | 4 月～ | 矢口中学校体育館 入会者 20 人、年 24 回、延べ 312 人参加 |

② 中高校一般

i 蒲田地区 1・3日/月夕方 4月～ 蒲田高校体育館他
入会者 30人、年 25回、延べ 632人参加

2) テニス教室 (蒲田地区)

- ① 対 象 小学生から成人 (10～54歳)
- ② 開催日 4月～ 2回/月 日曜日午前 年 24回開催
- ③ 参加者 入会者 16人、延べ 190人参加
- ④ 場 所 蒲田高校・桜台高校テニスコート
- ⑤ 内 容 初級・中級者を対象としたテニススクール
- ⑥ 他倶楽部交流試合 8回
 - i 期 日 2012年 10月 28日
 - ii 場 所 桜台高校テニスコート
 - iii 参加者 15人
 - iv 主 旨 倶楽部会員家族との交流試合

3) 健康体操教室 (雪谷地区)

- ① 対 象 洗足地区 50歳～の中高齢者
- ② 開催日 4月～ 毎週金曜日の午後 年 47回開催
- ③ 参加者 入会者 24人、延べ 714人参加
- ④ 場 所 ㈱ニチレイ研修センター体育室他
- ⑤ 内 容 高齢者向け健康体操
- ⑥ 協 力 利根川 K スタジオ

4) チアリーディング教室 (雪谷地区ジュニア)

- ① 対 象 小学生～中学生
- ② 開催日 4月～ 毎週土日月曜日 年 429回開催
- ③ 参加者 入会者 134人、延べ 6,060人参加
- ④ 場 所 雪谷中学校・大森十中体育館、㈱ニチレイ研修センター体育室他
- ⑤ 内 容 基礎技術の向上・USA ナショナルズ 大会や地域イベントの参加
- ⑥ ヴィッキーズ ヴァーシティ強化合宿
 - i 期 日 2012年 12月 26～28日
 - ii 場 所 平和島ユースセンター
 - iii 参加者 ヴァーシティ 25人
 - iv 主 旨 USA ナショナルズ 大会に向けての強化合宿
- ⑦ 大田バスケットボールフェスタ
 - i 期 日 2012年 10月 14日、
 - ii 場 所 大田区総合体育館
 - iii 参加者 46人

iv 主 旨 ウィッキーズホームゲームでのチア演技

⑧ 大田ふれあいフェスタ

i 期 日 2012年11月3日

ii 場 所 平和島競艇場

iii 参加者 50人

iv 主 旨 チア演技/今回は雪谷ジュニア、出雲チア(11/4)

5) チアリーダーイングチーム(雪谷地区一般)

① 対 象 中学生～成人

② 開催日 4月～ 毎週土曜日 年30回開催

③ 参加者 入会者9人、延べ195人

④ 場 所 雪谷中学校体育館、(株)ニチレイ研修センター体育室

⑤ 内 容 イベントや大会参加のチームとして結成

バスケットボールフェスタ、大田ふれあいフェスタ等地域イベントに参加
ウィッキーズ帯同応援 大田区 10/13～14、富津 10/20、
藤沢 11/21、練馬 11/4、品川 11/10～11、
USA ナショナルズ 3/24 出演

6) チアリーダーイング教室(出雲地区ジュニア)

① 対 象 小学生

② 開催日 4月～ 毎週火曜日 年51回開催

③ 参加者 入会者43人、延べ1,892人

④ 場 所 出雲小学校体育館他

⑤ 内 容 基礎技術の向上/倶楽部は運営協力

⑥ イベント チアリーダーイングフェスティバル、スポーツゴミ拾い、
萩中ふれあいまつり等地域イベントに参加

7) チアダンス教室(雪谷地区)

① 対 象 20～40代女性

② 開催日 4月～ 毎週木曜日 年16回開催

③ 参加者 入会者5人、延べ72人

④ 場 所 インスパ、(株)ニチレイ研修センター体育室他

⑤ 内 容 楽しくチアダンスで体を動かす

⑥ イベント 今年度は不参加

8) スピードミントン教室(蒲田地区)

① 対 象 30～50代

② 開催日 4月～ 隔週土曜日 年19回開催

③ 参加者 入会者20人、延べ83人

- ④ 場 所 蒲田高校・雪谷高校体育館
- ⑤ 内 容 日本初スピードミントンの基本と普及
- ⑥ イベント 第五回日本スピードミントン交流大会を開催
 - i 期 日 2012年12月2日(日)
 - ii 場 所 蒲田高校体育館
 - iii 参加者 18人
 - iv 主 旨 スピードミントンの普及と会員間の交流

9) ジュニアビートフット教室(大森地区)

- ① 対 象 幼稚園～小学生
- ② 開催日 4月～ 月曜日3回/月 年72回開催
- ③ 参加者 入会者22人、延べ1,224人
- ④ 場 所 大森第五小学校体育館他
- ⑤ 内 容 音楽に合わせて楽しくビートダンス
- ⑥ イベント OKJサマーキャンプ、フェスティバル等地域イベントに参加
- ⑦ 協 力 OKJエアロビックファミリー

10) リズムダンス教室(蒲田地区)

- ① 対 象 小学生、中学生以上一般
- ② 開催日 4月～ 小学生火曜、一般日曜日3回/月
- ③ 参加者 入会者30人、延べ587人 年42回開催
- ④ 場 所 新宿小学校、蒲田高校体育館他
- ⑤ 内 容 ヒップホップを中心に楽しくリズムダンス
- ⑥ イベント 品川バスケットボールフェスタ等イベントに参加

11) キッズアクロバット(鶴見地区)

- ① 対 象 小学生
- ② 開催日 4月～ 小学生火曜
- ③ 参加者 入会者2人、延べ68人 年38回開催
- ④ 場 所 横浜市パワーボムスタジオ
- ⑤ 内 容 アクロバットの基本技術から基礎身体能力
- ⑥ イベント 地域イベント等に参加
- ⑦ 協 力 パワーボム

12) サッカー教室(羽田地区)

- ① 対 象 幼稚園～小学生
- ② 開催日 4月～ 水曜、金曜日8回/月
- ③ 参加者 入会者42人、延べ3,075人 年75回開催
- ④ 場 所 羽田小学校、タートルスクイールト

- ⑤ 内 容 ャッカの基礎中心に楽しくサッカー
- ⑥ イベント 本年度は不参加
- ⑦ 協 力 (株)ファンルーツ

1 3) 太極拳教室 (馬込地区)

- ① 対 象 一般シニア
- ② 開催日 7月～ 金曜日 4回/月
- ③ 参加者 入会者 6人、延べ 76人 年 24回開催
- ④ 場 所 西馬込コミュニティーセンター
- ⑤ 内 容 養生健康法を取り入れ楽しい太極拳
- ⑥ イベント 本年度は不参加

※教室年間開催詳細一覧表は別紙参照

(2) 大田スポーツゴミ拾い大会

1) 第一回池上地区スポーツゴミ拾い大会

池上の環境保全を住民主体で担う視点で池上小学校を中心に実施

- ① 主 催 実行委員会
- ② 共 催 ピボットフット
- ③ 対 象 地域の子供から高齢者、区民から地元企業人、トップ選手
- ④ 開催日 2013年3月9日(土)
- ⑤ 参加者 25チーム 150名・スタッフ 100名 合計 250人
- ⑥ 場 所 大田区立池上小学校中心に半径2キロメートル
- ⑦ 内 容 チーム制、競技ルール・時間・エリアの中でのゴミ拾い
 収集ゴミ 117.5キログラム
 優勝チーム：四男一女
 2位：ARROW 池上
 3位：KU5

2) 第四回大田スポーツゴミ拾い大会

羽田の国際化を視点を萩中神社を中心に実施

- ① 主 催 実行委員会
- ② 共 催 ピボットフット
- ③ 対 象 地域の子供から高齢者、区民から地元企業人、トップ選手
- ④ 開催日 2013年3月10日(日)
- ⑤ 参加者 40チーム 240名・スタッフ 80名 合計 320人
- ⑥ 場 所 大田区萩中神社中心に半径2キロメートル
- ⑦ 内 容 チーム制、競技ルール・時間・エリアの中でのゴミ拾い

収集ゴミ 278.5キログラム

優勝チーム：ワタミ経理部

2位：萩中町会環境美化部

3位：はばたき20S

(3) 年間イベント活動は、別紙一覧表を参照

(4) 主な指導者派遣活動等

1) 大田区議会議員新総合体育館内覧会と講演会

- ① 開催日 2012年4月19日(木)
- ② 場 所 新大田区総合体育館会議室
- ③ 参加者 区議会議員25人
- ④ 内 容 スポーツを活用した地域振興について
- ⑤ 派遣者 桑田理事長

2) 中学生スポーツ教室指導員

- ① 主 催 大田区教育委員会
- ② 開催日 2012年5月～2012年2月 年間14回
- ③ 場 所 雪谷中学校体育館
- ④ 参加者 区内小中学生延べ209人参加
- ⑤ 内 容 バスケットボール教室
- ⑥ 派遣者 元エバラヴィッキーズ選手

3) エンジョイスポーツ2012

- ① 主 催 葛飾区教育委員会、体育協会、実行委員会
- ② 開催日 2012年5月13日(日)
- ③ 場 所 葛飾区総合体育館
- ④ 参加者 区内小学生250人
- ⑤ 内 容 バスケットボール教室
- ⑥ 派遣者 桑田理事長

4) 葛飾区ダンス・体操教室

- ① 主 催 社会福祉法人かがやけ福祉会
- ② 開催日 2012年4月～2013年3月
- ③ 場 所 葛飾区シニア活動支援センター
- ④ 参加者 在住55才以上シニア40名
- ⑤ 内 容 チアダンス教室の開催に講師派遣
- ⑥ 派遣者 山田僚子コーチ

- 5) 横浜市地域クラブアシスタント養成講座
- ① 開催日 2012年7月14日(土)
 - ② 場 所 横浜市スポーツ医科学センター中研修室
 - ③ 参加者 クラブ運営スタッフ 22名
 - ④ 内 容 総合型スポーツクラブの作り方
 - ⑤ 派遣者 桑田理事長
- 6) 中学生スポーツ・文化教室女子バスケットボール講師
- ① 開催日 2012年11月10日(土)
 - ② 場 所 都立大田桜台高等学校体育館
 - ③ 参加者 バスケットボール部選手と近隣中学生
 - ④ 内 容 バスケットボールの基本技術の習得
 - ⑤ 派遣者 桑田理事長
- 7) 総合型地域スポーツクラブ育成事業関東ブロックミーティング
- ① 主 催 (公財)日本体育協会、SC全国ネットワーク
 - ② 開催日 2012年11月24日(土)～25日(日)
 - ③ 場 所 高崎市総合福祉センター たまごホール
 - ④ 参加者 関東ブロック地域スポーツクラブ関係者
 - ⑤ 内 容 ブロック内交流活動、連携協力体制の強化
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長
- 8) 地域スポーツクラブ指導者講習会
- ① 主 催 大田区教育委員会
 - ② 開催日 2013年1月16日・23日
 - ③ 場 所 大田区役所会議室・大森第十中学校
 - ④ 参加者 区内団体関係者 20人
 - ⑤ 内 容 地域スポーツクラブ指導者養成講座
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長
- 9) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2013
- ① 主 催 文部科学省、実行委員会
 - ② 開催日 2013年1月25日(金)
 - ③ 場 所 宮崎観光ホテル
 - ④ 参加者 全国スポーツ関係者 600人
 - ⑤ 内 容 次世代に繋ぐ新たなスポーツ環境の創出に向けて
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長